

# 社報 (株)南信サービス

# 道ROAD

<第26号>2021年1月発行《編集・発行元》(株)南信サービス営業部総務課

## 社長あいさつ

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。昨年は今まで体験したこともない事態が起きました。【新型コロナウイルス】です。今現在もその猛威は衰えておらず、身近に迫る病魔への対策対応に追われる日々です。医療現場が騒然とし、経済が混乱の様相を呈している状況下、今後どのようになるのかまだ先が見えてこず、不安感でいっぱいです。社業に専念したいのですがなかなか思うようにはいけません。今年は工場の工事計画もあり、新規顧客の確保といった更なる会社飛躍の年にしたいので、この難局面を全員で乗り切って頑張っていきたいと思えます。一日も早くコロナが終息することを祈ります。

## 油水分離施設機能強化工事について

弊社は産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬及び処分を行っている会社であり、処理品目は大きく分けて汚泥（有機性汚泥・無機性汚泥）と廃油の2種類です。廃油処理は昭和58年頃から始まっており、昭和の時代の廃油排出箇所は主にガソリンスタンドの分離槽や自動車修理工場等の分離槽の排水で、堆積汚泥と水及び若干の油をいたって簡単に処理していました。平成の時代に入ると工場関係の油分処理が増加し、そのニーズに応えるため新たに加圧浮上設備を設け、排水処理には生物処理槽を取り入れました。また、廃油のリサイクル化を推進するため、廃油を主燃料とした焼却施設を平成10年に新たに設置し、同時に廃油をリサイクル可能な燃料にするための施設も設けました。その一方で廃油の多種多様化で処理が難しくなったのも事実です。今後当社が目指す廃棄物処理において、現在ISO活動で取り組んでいる「自然環境を尊重し、地域社会に貢献する」の上でも、今回の油水分離施設機能強化工事が必要不可欠となります。

この工事の大きな特徴は蒸留濃縮機の導入にあります。中濃度廃油（水溶性切削油）の処理を、現在は加圧分離方式で油分を除去し、残りを油水分離施設で処理しているため、生物処理の負荷が大きくなっています。今回の工事を行えば、凝縮水（蒸発水）を取り出して二次処理を行った後下水に放流するため、既存生物処理への負荷がほとんどかからず、きれいな処理水が得られます。

今後もより良い企業を目指し頑張っていきたいと思いますので宜しくお願いいたします。

# 2020年教育一覧

(社内教育は除く)

1月	(特になし)
2月	廃棄物処理業及び解体工事業等における労務管理・安全衛生管理研修会
3月	(特になし)
4月	フォークリフト運転技能講習
5月	(特になし)
6月	乾燥設備作業主任者技能講習
7月	安全衛生推進者養成講習
	フォークリフト運転技能講習
	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程 + 収集・運搬課程 (更新) 講習会
8月	(特になし)
9月	(特になし)
10月	フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業に係る特別教育
	令和2年度危険物保安講習
	肥料制度の見直しに係る説明会 (WEB会議)
11月	(特になし)
12月	フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業に係る特別教育
	ボイラー取扱技能講習
	令和2年度危険物保安講習

2020年は外部講習として上記のものに参加しました。

## ゴミ拾い及び防火水槽清掃

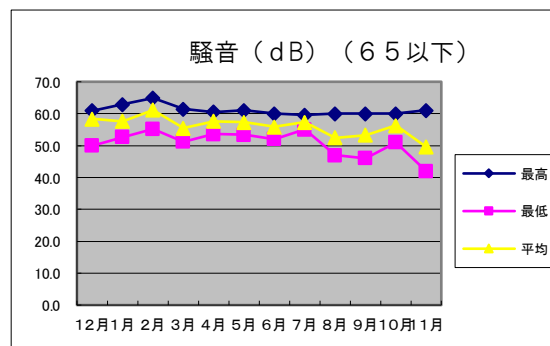
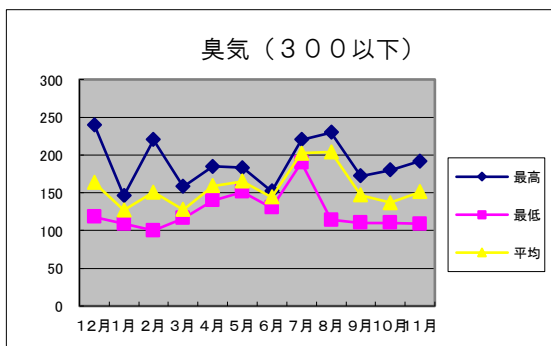
昨年も3月と9月に地元である松川自治会様周辺及び上片桐駐車場周辺のゴミ拾い活動と、併せて松川自治会様に2箇所ある防火水槽の清掃を行いました。

また、松川町を通じて依頼のありました古町自治会様の防火水槽を5月に清掃いたしました。



## 臭気騒音測定結果

(工場内敷地調べ)



# 新入社員紹介

## 新入社員への質問

- ①働くにあたっての抱負を5・7・5の川柳に詠んでください。
- ②趣味などプライベートで力を入れているものを教えてください。
- ③最後にひとことお願いします。



西尾 佳子

①「根気よく 一歩ずつでも 前進を」

②祖父の影響で幼い頃から絵を描くことが好きで、最近は子供とキャラクターの絵など描いて楽しんでいます。家族で旅行や買い物、子供と公園で体を動かして遊ぶことも好きです。

20台前半から始めたゴルフも、子育てが落ち着いたら友人とツアー感染やラウンドも行きたいと話しています。

③入社して半年たちますが、分からない事も多く、ミスもあり、皆さんに助けて頂きながら働かせていただいています。ありがとうございます。

働ける環境があるだけでも本当に幸せなことだと感じます。日々感謝しながら過ごしていきたいです。

## 編集後記

昨年のコロナ渦により、例年弊社にて開催しておりました「安全大会」「地元親睦会」は中止となりました。また、ISO14001:2015の定期審査も4月受審予定だったものが7月に延びたり、「酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者講習」や資源循環保全協会主催の「環境美化運動」が中止になるなど多大な影響がありました。

ただ、そんなコロナ渦になる前の2月初めには新年会が開催され、下呂温泉の望川館に一泊して社員同士の親交を深めることが出来ました。社員一同結束してこのコロナ渦を乗り切れたらと思います。